

人 三 一 冊

2024 volume 150

どんばいったい 春号



福島馬主協会会報

特別座談会
福島競馬の未来を考える

特集

創設から20年!

「福島ダート1150m」誕生の秘話

馬と温泉く西郷村歴史民俗資料館&甲子温泉く
郷土の美酒をめぐる旅く福島路ビールく

福島馬主協会会報

二〇二四年 春号(通巻二五〇号) 二〇二四年三月二十九日発行

編集発行人/広報委員長 坂田行夫

発行/一般社団法人福島馬主協会

福島県福島市松浪町九十二三三 電話(〇二四)五三四一二三三



CONTENTS



01 着任のごあいさつ 阿部博史 日本中央競馬会 福島競馬場 場長

02 特別座談会

福島競馬の未来を考える

08 2023年 福島競馬開催実績

09 2024年 国内セリ市場日程

10 特集

創設から20年!

「福島ダート1150メートル」 誕生の秘話

14 馬の体 その最先端 第25回
【馬の耐暑性と耐寒性】

16 会員勝馬情報

26 馬と温泉 Part2
～西郷村歴史民俗資料館&甲子温泉～

27 郷土の美酒をめぐる旅〈2杯目〉
～福島路ビール～

福島馬主協会事務局より

28 TOPICS 定時社員総会/会員研修旅行/
秋季馬主研修会及び懇親会/助成金目録贈呈式
【～未来をつくる子供たちへ～】
福島馬主協会は子ども食堂の運営を支援しています

31 助成金報告・活動報告・
新規会員

福島馬主協会組織図

着任のごあいさつ



日本中央競馬会
福島競馬場 場長

阿部博史

陽春の候、福島馬主協会会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より福島競馬場の運営に関し、多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
私、本年3月の人事異動により、福島競馬場長に就任いたしました阿部博史と申します。30年振り2度目の福島競馬場勤務となります。

(他には、本部・栗東・新潟・東京・京都での勤務経験がございます。)

30年前と言えば、福島競馬場はまだ旧スタンド、ちょうど現在のスタンドの建設工事が始まる頃でした。また、寮住まいではありませんでしたが、初めて実家を出ての一人暮らしということ、期待と不安の中の異動でしたが、福島の方々にとっても温かく迎えられることは、とても懐かしくもあります。ただ、当時とは違い、今回は重責を担うこととなり、光栄なことではありませんが、身の引き締まる思いを強く感じております。

福島馬主協会の皆様とともに福島競馬を

盛り上げるよう力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、日本中央競馬会は本年9月に創立70周年を迎えます。これを記念いたしましたお客様への感謝の気持ちを込めまして、年間を通して70周年ならではの特別感を味わっていただけるイベントなどを準備しております。福島競馬場でも6月30日のラジオNIKKEI賞当日を「70thサンクスデー」に設定し、多彩なイベントをご用意してお客様をお迎えいたします。昨年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後からは通常に近い形での開催運営になりましたが、さらに盛り上げ、多くのお客様に来場していただきたいと思っております。

最後になりましたが、福島馬主協会様におかれましては、これまでと同様に福島競馬場へのご支援・ご協力をお願いするとともに、福島馬主協会様のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、愛馬のご活躍を祈念いたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

特別
座談会

福島競馬の未来を考える

馬を愛するという共通の思いで共に歩み続ける

福島馬主協会と日本中央競馬会 ――

とりまく環境の変化を越えて、これからも福島競馬の魅力を生分に伝え続けていくために
本会と競馬会ができること、協力していくべきことなどをあらためて語り合いました

※この座談会は2023年11月17日に行われました



に競馬場に通ってくださったファンの方の一部には、ご来場いただける頻度が減った方もおられるように感じました。伊東会長はいつも「競馬場はお客様を迎えるための施設だから、何よりお客様を大事にしないではいけません」とおっしゃってくださいますが、この1年で、競馬場はお客様との向き合い方がひとつ別のフェーズに入り、その上で再スタートした年だったように感じます。

高橋 ラジオNIKKER賞、七夕賞、福島記念と重賞では1万人を優に超える入場者となりお客様の足が戻ってきたと感じます。半面、古いファンの層が少しずつ減っているということについては、ネット予約だけでなく、ご高齢のファンのために指定席の当日券での発売があることも戻ってきているのではないかと思います。

伊東 ご高齢のファンにとってネット予約はわずらわしいでしょうね。私も難しい(笑)

吉成 全日ほぼ満席になってしまいうな



坂田 行夫
本会社会貢献・
広報委員会委員長

加藤 裕司
本会社会貢献・
広報委員会委員

進行 高橋 利明
福島民報社

杉山 淳
JRA福島競馬場
前場長

伊東 純一
本会会長理事

吉成 公伸
JRA理事

阿部 善武
本会副会長理事



ら、指定席の数も考えなければいけませんね。

伊東 馬主席に余裕があったらファンに開放したらどうでしょうか。寒い時期にご高齢の方が外で観戦している姿を見ると、使われていないところを使ってほしいと思いますよ。

高橋 自分は仕事で開催日には競馬場にいるのが当たり前なので、ネット投票すらしていないんですよ。だから仕事抜きでファンの立場だったら苦労していたかもしれません。

伊東 昭和世代にはハードルが高い(笑)。

阿部 それでも若いファンが増えたことには喜ばしいことですけどね。

吉成 確かに、ご高齢の方々などにとってネット予約は難しい面があるでしょうが、予約制にしたことで指定席を求めて前日や早朝から並んでいたというよりはなくなりました。これからはネットが中心になってくると思いますし、最初のハードルは高いかもしれませんが、一度越えていただければと理解していただけたらと思います。

伊東 もちろんいい面があることは間違いないですね。ただ、ハードルを越えればいいというのはその通りなのですが、対応することがとても難しい人たちのことも救ってほしいという思いがあります。

高橋 逆に地域のご高齢の方たちを、競馬をきっかけとしてネット利用に導いてくれるような競馬場になってくれるといいですね。

伊東 福島は長い間競馬を支えてくれたファンが多いからおさらです。

坂田 先ほど会長がおっしゃっていたことでもありますが、馬主席を使っていた方法はあるのでしょうか。

杉山 とてもありがたいお話ですが、現状では指定席はネット予約の仕組みですからね。

伊東 以前やっていたように、その日空いている席は「馬主協会招待席」のような形で開放する方法はどうでしょうか。

吉成 なるほど、その方がスムーズかもしれませんね。

高橋 話は変わりますが、杉山場長は

活気が戻ると同時に
新たなフェーズを迎えている
福島競馬

高橋 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回は2023年に就任されました福島競馬場の杉山淳場長に、就任からの1年間を振り返っていただくとともに、JRAから、秋の福島競馬の開催委員長を務められました吉成公伸理事にもご出席いただき、福島馬主協会の皆さんと一緒に、今後の福島競馬のあり方や期待についてもお話しいただければと考えております。福島競馬への我々地元の期待は大きいものがあり、そのあたりも皆さんのご意見を伺ってまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

それでは、杉山場長、この1年、振り返っていただいて、率直にいかがだったでしょうか。

杉山 はい、福島としては、3年ぶりに大きな地震がなく、春、夏、秋と通常通りに有観客で競馬を開催できたこともポイントの1つですが、世の中がコロナ禍を乗り越えて4年ぶりに以前の姿に戻ったというのが大きかったと思います。また、コロナ禍の間には、インターネット投票を利用する便利さを多くの方々実感したと思います。競馬場では今年に入ってから、指定席券の事前ネット予約がほぼ全日満席となりました。来場者には若い人が増えて、女性も一段と増えました。逆に、これまで生活習慣のよう

福島が2回目の赴任ということで、その当時と比べて現在の印象はいかがですか。

杉山 私が以前福島にいたのは20年以上も前になりますが、今は明らかに競馬で感じる季節感が変わりました。かつての夏競馬は6月中旬に始まる梅雨時の開催で、開催日にはいつも雨が降っているという印象でした。それが今は7月の非常に厳しい暑さの中で夏競馬が開催されるようになっていきます。秋競馬も以前は10月、11月の2カ月にわたる長い開催で日に日に陽が短くなり、寒くもなる中で、若手は朝の調教当番もありました。それが今は短い3週間の冬に近い秋開催です。一年を通じて、今は春、夏、秋の競馬で、新緑、果物、紅葉と、福島のいい季節に合わせてバランス良く競馬の開催が巡ってくる感じで、皆さんには楽しんでいただいているんじゃないかなと思います。

加藤 そうですね。観光面も含めてもいいバランスで開催があると思います。

杉山 個人的に思うのは、以前私がいたころには秋の競馬でカブトヤマ記念という重賞がありました。かつて父内国産馬の重賞があったというのも、この間の日本の競馬の流れを感じられるところで、隔世の感があります。

伊東 あったねえ。

杉山 かつての内国産馬を象徴する名馬の名前がレース名で、当時の施策を感じることもできます。レース名にま

つわるストーリーは競馬の楽しみの一つでもありますし、単純にカブトヤマ記念という名前も好きだったので、なくなつてちょっとさびしい気もしました。高橋 カブトヤマ記念は秋から春に移って廃止されて、その代わりに今の福島牝馬Sができるという移り変わりがありましたね。

伊東 昔は秋が2開催だったですからね。最後の未勝利戦も面白かった。勝てないそのまま中京に行ったりしてね。懐かしいなあ。



父内国産馬限定重賞だったカブトヤマ記念（1997年・優勝馬テイムオオアラシ）。満員のファンの前で、出走馬12頭が横並びに広がって激戦を繰り広げた

高橋 福島競馬の総括に移りますが、今年は4年ぶりにお客さんも迎えて通



常の開催に戻りましたね。場内には非常に活気があった印象です。

杉山 先ほど申し上げましたとおり若いファン、女性ファンの割合は増えましたが、それでも福島のファンは依然として競馬に対しての思いが強いと感じます。他の競馬場と比べても顕著な傾向として、福島のお客様は朝の出足が早く、そのまま1日楽しんで下さいます。ちなみに馬主協会の皆さんも出足が早い。（一同笑い）

実際にお客様と触れ合ってお話させていただくと、本当に皆さん競馬を楽しんでいらつしやるということを肌で感じます。

伊東 昔は全国転勤の都市銀行の皆さんなどは、福島に赴任してここで競馬を覚えたという方が多かったですよ。月曜の朝はお得意さんのところで必ず競馬の話になりますから。

杉山 今でもそういう話をよく聞かれます。

高橋 福島競馬の売得金や入場人員の推移はいかがでしょうか。

類に移してから、福島の街全体は元



高橋 吉成理事は9月に理事に就任されて、秋の福島競馬で初めて開催委員長を務められました。福島競馬の印象をお聞かせください。

類に移してから、福島の街全体は元気を取り戻しているでしょうか。

加藤 福島市内で飲食店を営んでいる後輩もいますが、コロナが少し落ち着いてもなかなかお客さんは戻っていません。戻ったという点で、コロナが5類になって秋の競馬開催の時にはいろいろなところから皆さんが来てくれて、私もお店を予約してほしいと言われることが多かったですね。競馬場に入場者が戻って、地元の飲食店の方も少し活気が戻ったということで、競馬のいい影響が出ていっているように思います。

高橋 もともと競馬と街の相乗効果は大きくて、競馬場に活気が戻って街も本来の姿に戻りつつあるのかもしれないですね。

加藤 伊東会長がいつもおっしゃっているように、競馬を1日楽しんだ後に街で反省会をするという形ですね。

杉山 競馬の開催期間中に街がにぎわうと言っていたことも多くて、我々も非常にうれしく思います。

とりまく環境の変化を越えて
福島競馬の魅力
伝え続けていくために

高橋 次に、福島競馬場はJRAで東北唯一の競馬場であり、全国10場の中で4番目に古い歴史があります。福島競馬だからこそという魅力もありま

杉山 どの開催も全国のファンの皆さんにたくさん買っていただいで、JRA全体の売上をしっかりと支える役割を果たせたと思います。特に主場となる夏開催は、GIシリーズ後で夏競馬のトップバッターになります。前年比を押し上げて、業績の面でも競馬の開催をつなげていくことの大切さを感じさせてくれました。ちなみに七夕賞は81億4833万2800円と、これまでの福島競馬の中でも、1レースの売得金レコードとなりました。入場人員はざつ

福島競馬
入場人員・売得金レコード

入場人員のレコード	
1日	47,391名 1993年1回8日 (七夕賞)
1開催	272,292名 1997年1回 (8日間)
売得金のレコード	
1レース	81億4,833万2,800円 2023年2回4日 (七夕賞)
1日	192億8,659万6,500円 1994年1回6日 (ラジオたんば賞)
1開催	1,228億8,381万2,300円 1994年1回 (8日間)

※2023年の七夕賞は、福島競馬1レースの史上最高売得金となった

近年の福島競馬開催実績 ※2018・19年=コロナ以前

開催	回数	日数	入場人員	売得金
2018	1回	6	66,264名	262億5,180万2,800円
	2回	8	102,882名	671億9,071万1,800円
	3回	6	71,973名	272億1,036万2,800円
	合計	20	241,119名	1,206億5,287万7,400円
2019	1回	6	66,894名	279億635万7,200円
	2回	8	98,950名	723億3,897万2,600円
	3回	6	70,772名	279億4,260万1,200円
	合計	20	236,616名	1,281億8,793万1,000円
2020	1回	8	0名	413億7,815万5,900円
	2回	6	0名	615億4,798万6,500円
	3回	6	6,487名	300億8,390万7,100円
	合計	20	6,487名	1,330億1,004万9,500円
2021	1回	6	0名	638億9,796万2,200円
	2回	6	33,262名	316億7,049万6,200円
	合計	12	33,262名	955億6,845万8,400円
	2022	1回	6	0名
2回		8	65,856名	795億3,755万500円
3回		6	54,739名	313億2,890万6,600円
合計		20	120,595名	1,453億3,464万7,200円
2023	1回	6	52,655名	337億3,044万2,800円
	2回	8	82,143名	807億4,152万3,900円
	3回	6	60,008名	327億362万500円
	合計	20	194,806名	1,471億7,558万7,200円

※売得金はWIN5を含む

す。その魅力を伝え続けるために皆さんのご意見を伺いたいと思います。

伊東 福島には福島競馬振興会があるのが象徴的です。全国でも他に例をみない組織で、市をあげて競馬を盛り上げようとしています。ただ、そこでも話題になるのは開催日数が以前のように増えないかなということですね。

吉成 それについては、以前は1開催8日以内と決まっております、「3開催で24日」でしたが、このルールが変更されました。売り上げが思わしくない時期に四大場での開催を増やそうとローカルの開催日数を移して、その状態が続いています。四大場に移した祝日の開催が売り上げを押し上げているので、福島のファンの熱意は承知しているのですが、なかなか以前の形には戻しにくいというのが現状です。



に番組が良くなったと感じます。

吉成 以前はJRAがここに重賞（G競走）が必要と考えれば決められる部分があったのですが、今は国際基準により一定のレースレーティングを得なければG格付（グレードレース）になりませんし、それを保てなければ降格もあり得ます。なかなか重賞を新しく創設するというのが難しくなりました。高条件のレースが増えてきているのは4歳夏の降級をなくしたことで高条件の馬が増えたためだと思います。

伊東 ただその分、夏場の1勝クラスや2勝クラスは層が薄くなっています。我々馬主側からすると、降級もなくなつたことで、所有馬を長く走らせて楽しむというのは難しくなっていますね。

吉成 いろいろな面で競馬の仕組みが

くりえば、日曜日で1万人、土曜日で8000人前後、重賞の日で1万5000人、年間20日競馬開催で20万人弱と、コロナの前と比べれば85%ぐらいでした。

変わってきているのは事実です。話は少し違いますが、例えば、以前は馬が厩舎にずっと滞在してスタンバイしていましたが、今は外部の施設なども利用しながらターゲットのレースに向けて状態を整えていくというケースが多くなっていることなどもそうです。そうなる、空いている番組に急遽使うというようなことはなかなかできなくなりそうですからね。

高橋 馬場の話をさせて下さい。昔に比べると芝は変わりましたね。

伊東 本当に良くなったと思います。**坂田** 秋の芝コースは素晴らしかったですね。



「とても良くなった」と参加者各位が口を揃えた現在の芝コース。多くの関係者の尽力により、秋の開催でもコンディションを保ったままレースが行われた（2023年福島記念・優勝馬ホウオウエミーズ）。

杉山 以前の芝コースは雨が降ってしまふと泥んこ馬場で道悪が得意な馬が内を走って他の馬は外を進むというレースもありました。その間、路盤を改修したりして芝も少しずつは良くなってきましたが、それでも大きな塊が飛んできて直撃された騎手の方の意識が飛んだということもあったようです。それが、2008年ごろからエクイターフを導入して、キックバックで大きな塊が飛ぶことがなくなり、掘れにくくなって荒れなくなりました。丈夫な芝にすることで今のいい状態につながっているのかなと思います。

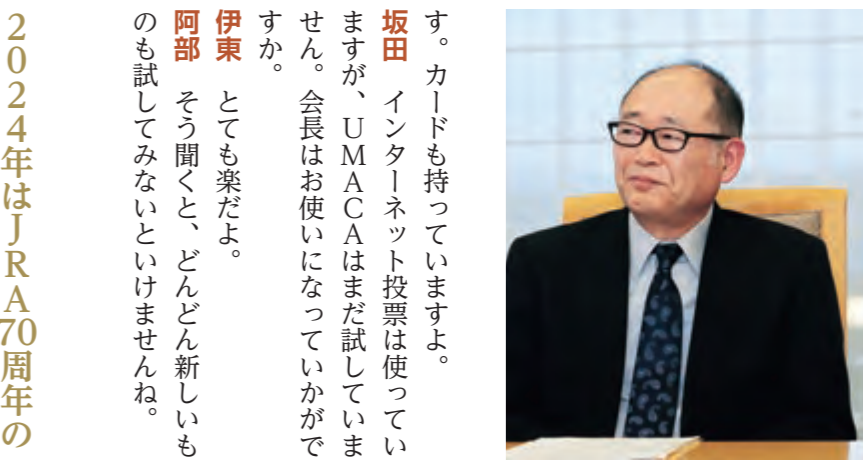
阿部 福島では芝の故障馬が少なくなりましたね。自分の馬についていえば、福島で故障したことということが最近はありません。安全な芝コースになっていると感じます。

高橋 競馬場の施設面についても伺います。福島競馬場は2011年の東日本大震災に続いて2021年、2022年も春に相次いで大きな地震の被害に遭いました。未来を見据えてスタンドを含めた施設面の整備や利用計画についても教えてください。

杉山 福島競馬場は東日本大震災以降も最近になって二度の大きな地震がありました。その都度、ただ元通りに修理するだけではなく、次に地震が起きてもより被害が少なくなるようにリフレッシュしてきました。例えば2021年の地震の後に対応した、スタンドの要所を繋ぐ電車の連結部のようなジョイントは大きな揺れに対しても非常に効果があって、今はとても安全・安心な状態でお客様をお迎えできているといえます。当面はこの形で、施設の有



効活用など工夫していきたいと思えます。開催日以外にコンベンションホールのような使い方をしていたら地域の皆さんからとても評価していただいたこともあり、今後はそういった使い方についても考えていきたいですね。**加藤** 10月に第35回電気工事事業全国大会というとても大きなイベントに福島競馬場を使わせていただきました。非常に開放感もあり、全国の皆さんから好評でした。



す。カードも持っていますよ。**坂田** インターネット投票は使っていますが、UMACAはまだ試していません。会長はお使いになっていかがですか。**伊東** とても楽だよ。**阿部** そう聞くと、どんどん新しいものも試してみたいですね。

2024年はJRA 70周年のメモリアルイヤー

高橋 さて、2024年はJRA創立70周年です。70周年を迎えるにあたってのJRAとしてお考えになっていることを教えてくださいませんか。

吉成 まず、ファン投票で「メモリアルヒーロー」を決めました。GI24レースの優勝馬の中でそのレースを代表する馬を選んできて、GI当日に馬名を冠したメモリアルレースを行い、名馬の功績をたたえます。また、「70thサンクスデー」として各競

馬場でファンに向けての感謝の日を設けます。福島競馬場は6月30日のラジオNIKKEI賞の当日になります。さらに9月16日のまさに創立70周年アニバーサリーデーには、全レースの払戻率をはじめ色々な形で感謝の気持ちを表したいと考えています。その他も特別感のあるイベントを揃えて、70年のご愛顧に感謝したいですね。



2024年は「JRA70周年」として様々な記念事業が実施される。福島競馬場では6月30日（日）が「70thサンクスデー」に設定され、特別な1日となる。

未来を担う子供たちのために

高橋 次に、協会の活動についてですが、福島馬主協会としては福祉事業をはじめ、さまざまな社会貢献をされています。日頃の取り組みや新たな展望についてお聞かせください。

坂田 馬主の社会貢献事業としては、従前より、(公財)中央競馬馬主社会福祉財団(以下、「福祉財団」という。)を通じて競馬賞金による助成事業を行っています。2023年は、福島馬主協会分として社会福祉法人等20の施設に合計2823万円を助成させていただきました。全国10の単

協を合計しますと、3億1543万円。これ以外にも福祉財団から直接38府県に2億3548万円の助成金を交付しています。1969年に福祉財団が設立されたからの累計ですと、約1200億円以上を交付させていただいたことになりました。

また、それとは別に、福島馬主協会が独自で行った公益目的助成事業があります。2022年からになります。福島競馬場がある福島市の子ども食堂を運営する方々の支援を行っております。2022年が30施設に500万4000円、2023年は33施設に600万5100円を助成いたしました。現在、福島市内の子ども食堂は40施設を超えています。当協会の支援については、今は福島市に限って行っておりますが、子ども食堂自体は、福島県内ですと130施設超、全国では7000施設超といわれています。

伊東 会長といつもお話ししていることは、この時代に貧困の子どもたちがいることはおかしい、そういう子どもたちにもっと何かできることはないかということですね。今、子ども食堂は地域の方々から寄付を集めて運営しているのがほとんどなんです。こうした状況の中でJRA創立70周年を迎えるにもあたり、皆様にもご理解いただければ、なんとかしてそうした子どもたちへの割当を増やしていくことでもっと救っていかないだろうかと思っております。



ます。**伊東** 未来をつくってくれるのは子どもたちです。**坂田** びっくりしてしまうくらいに大変多くの心のこもった御礼状をいただきました。

吉成 次世代の育成はとても大事だと思います。こういうことをきっかけに将来競馬を楽しんでくれるようになり、馬関係の仕事に就いてくれることで競馬が未来に続いていくようになるかもしれません。大変良い取り組みだと思います。

伊東 九州馬主協会の小田切会長が小倉競馬場近隣の子ども食堂を利用する子どもと保護者、食堂の運営者を小倉競馬場に招待していた記事を見て、いいことなさっているなあと思えました。子どもたちを馬車に乗せたりしてね。こちらでも何かできないかなと思っております。本当に皆さんが喜んでくれるのがうれしいですね。

これからも馬を愛するという共通の思いで

高橋 最後に本日の座談会の総括をお願いします。

杉山 今日はありがとうございます。素晴らしい知見をお持ちの協会の方々との意見交換ができるのは我々にとっても非常にありがたい機会です。坂田さんからも協会の取り組みをご紹介いただきましたが、各界で活躍される皆様、馬を愛するという共通の思いで親睦と奉仕の活動を続けている協会の活動にはかねがね敬意を抱いているところなんです。よく、福島競馬場は地域の宝です、と福島の皆さんから言われまして、多少面映いところもありますが、時代が変わっても、競馬場というコアポレイトブランドのようなものは変わりません。皆さんが競馬を身近で体感していただくという根本的なミッションも変わっていません。これからは協会の皆さんと競馬場とが車の両輪として、ここ福島に個性的でパワーのある競馬の拠点をつくっていききたいなと思っています。新しい時代のコミュニティの核になれるような場所になるといい、と思いますか、それがこれからの競馬場ではないかと考えております。これからも協会の皆さんにご協力をお願いします。**伊東** こちらこそよろしくお願ひします。これからもこういう機会を設けてコミュニケーションを取っていきましょう。

2024年 国内セリ市場日程

※開催日程は予定であり、変更となる可能性があります。

2歳部門

開催予定日	市場名	年齢	開催場所	主催者(連絡先)
4/23 (火) 4/22は騎乗供覧	JRA プリーズアップセール	2歳	JRA 中山競馬場	日本中央競馬会 050 (3139) 9540
5/10 (金) 5/9は前日下見	千葉サラブレッドセール	2歳	船橋競馬場	千葉県両総馬匹農協 0476 (93) 1008
5/21 (火) 5/19は事前下見、5/20は公開調教	北海道トレーニングセール	2歳	JRA 札幌競馬場	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133

当歳・1歳部門

開催予定日	市場名	年齢	開催場所	主催者(連絡先)
6/18 (火)	九州1歳市場	1歳	九州種馬場	九州軽種馬協会 099 (478) 3015
7/2 (火)	八戸市場	1歳	八戸家畜市場	青森県軽種馬生産農協 0178 (51) 8765
7/8 (月) 7/6、7は事前下見	セレクトセール	1歳	ノーザンホースパーク	日本競走馬協会 03 (3505) 3445
7/9 (火)	セレクトセール	当歳	ノーザンホースパーク	日本競走馬協会 03 (3505) 3445
7/22 (月)~24 (水) 7/22は更に厳選した馬を上場する プレミアムセッション	北海道セレクションセール	1歳	北海道市場	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133
8/19 (月)~23 (金)	北海道サマーセール	1歳	北海道市場	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133
9/17 (火)~19 (木)	北海道セプテンバーセール	1歳	北海道市場	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133
10/15 (火)~16 (水)	北海道オータムセール	1歳	北海道市場	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133
10/22 (火)	ノーザンファームミックスセール (当歳セッション)	1歳	ノーザンホースパーク	日高軽種馬農協 0146 (45) 2133

繁殖馬部門

開催予定日	市場名	年齢	開催場所	主催者(連絡先)
1/24 (水) (本年は終了)	ジェイエス繁殖馬セール・冬	繁殖	北海道市場	(株)ジェイエス 0146 (42) 2544
10/22 (火)	ノーザンファームミックスセール (繁殖牝馬セッション)	繁殖	ノーザンホースパーク	(株)ノーザンホースパーク事務局・ ノーザンファーム早来 0145 (22) 3737
10/23 (水)	ジェイエス繁殖馬セール・秋	繁殖	北海道市場	(株)ジェイエス 0146 (42) 2544



2023年 福島競馬開催実績

※売得金にはWIN5を含む

第1回福島

開催	開催日	天候	レース数	頭数	入場人員	売得金
第1日	4月 8日 (土)	曇	12R	175頭	7,960名	49億5,301万6,500円
第2日	4月 9日 (日)	晴	12R	177頭	8,432名	54億2,541万7,500円
第3日	4月15日 (土)	雨一時曇	12R	188頭	6,496名	52億2,885万900円
第4日	4月16日 (日)	曇後晴	12R	170頭	9,395名	53億3,087万9,400円
第5日	4月22日 (土)	晴	12R	167頭	11,631名	72億5,018万5,100円
第6日	4月23日 (日)	晴	12R	171頭	8,741名	55億4,209万3,400円
開催合計				1,048頭	52,655名	337億3,044万2,800円

開催リーディング (騎手)

騎手名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
永島まなみ	7	8	1	25	41	17.1%	36.6%
菱田裕二	6	6	4	25	41	14.6%	29.3%
丹内祐次	4	5	7	35	51	7.8%	17.6%

開催リーディング (調教師)

調教師名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
(美)青木孝文	3	2	0	8	13	23.1%	38.5%
(美)斎藤誠	3	0	1	6	10	30.0%	30.0%
(栗)村山明	2	2	0	2	6	33.3%	66.7%

第2回福島

開催	開催日	天候	レース数	頭数	入場人員	売得金
第1日	7月 1日 (土)	曇	12R	166頭	7,406名	85億417万6,700円
第2日	7月 2日 (日)	晴	12R	167頭	13,173名	157億6,730万6,900円
第3日	7月 8日 (土)	曇	12R	152頭	7,803名	79億593万3,100円
第4日	7月 9日 (日)	曇一時晴	12R	169頭	15,903名	156億3,464万1,400円
第5日	7月15日 (土)	雨後曇	12R	165頭	7,857名	74億714万3,500円
第6日	7月16日 (日)	晴	12R	168頭	12,047名	84億6,907万2,300円
第7日	7月22日 (土)	曇後晴	12R	164頭	8,477名	80億1,899万8,700円
第8日	7月23日 (日)	晴	12R	161頭	9,477名	90億3,425万1,300円
開催合計				1,312頭	82,143名	807億4,152万3,900円

開催リーディング (騎手)

騎手名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
戸崎圭太	15	6	10	30	61	24.6%	34.4%
田辺裕信	8	6	2	21	37	21.6%	37.8%
菅原明良	7	10	7	37	61	11.5%	27.9%

開催リーディング (調教師)

調教師名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
(美)奥平雅士	4	2	2	7	15	26.7%	40.0%
(美)和田勇介	3	3	2	8	16	18.8%	37.5%
(美)上原佑紀	3	3	0	7	13	23.1%	46.2%

第3回福島

開催	開催日	天候	レース数	頭数	入場人員	売得金
第1日	11月 4日 (土)	晴後曇	12R	163頭	9,748名	51億421万1,700円
第2日	11月 5日 (日)	曇	12R	155頭	7,914名	55億4,593万4,000円
第3日	11月11日 (土)	曇後晴	12R	178頭	8,132名	46億642万7,100円
第4日	11月12日 (日)	曇	12R	163頭	14,051名	69億1,588万8,700円
第5日	11月18日 (土)	晴	12R	185頭	8,201名	47億5,180万7,600円
第6日	11月19日 (日)	晴後曇	12R	185頭	11,962名	57億7,935万1,400円
開催合計				1,029頭	60,008名	327億362万500円

開催リーディング (騎手)

騎手名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
佐々木大輔	7	6	7	37	57	12.3%	22.8%
永島まなみ	7	2	4	34	47	14.9%	19.1%
古川奈穂	5	2	1	16	24	20.8%	29.2%

開催リーディング (調教師)

調教師名	1着	2着	3着	4着以下	出走回数	勝率	連対率
(栗)鮫島一步	3	0	1	7	11	27.3%	27.3%
(栗)羽月友彦	3	0	1	3	7	42.9%	42.9%
(美)上原佑紀	2	1	0	7	10	20.0%	30.0%
(栗)矢作芳人	2	1	0	7	10	20.0%	30.0%

創設から20年! 「福島ダート1150m」 誕生の秘話



JRA全10場のなかで、福島競馬場だけにある「ダート1150m」コース。

2004年（平成16年）の秋開催に初めて実施されてから今年で20年となります。

全国唯一の条件が福島に設立された経緯や、この条件についての今後の展望などをJRA競走部に伺いました。

※2023年12月20日に取材を行いました。役職名等は取材時のものです

取材・文 軍士門隼夫

2004年秋に運用が始まってから、今年でちょうど20年となる福島ダート1150m。日本で唯一、ここにしかない距離は、いかにして生まれたのか。当時の事情を知るJRA職員にお話を伺いながら、あらためてその設立の経緯を振り返る。

出走困難を解消するための一案として 提案されたのが1150mだった

福島にダート1150mが作られた直接のきっかけは、出走困難、いわゆる除外馬問題を解消するためだった。

JRA競走部番組企画室の室長を務める高松知之氏が係長として番組編成に携わるようになった2002年、JRAの重要課題の一つが、この出走困難だったという。

「2003年に新馬戦を一走化したり、他にも出走馬の決定方法を変えるなど問題解消のためのいろいろやっていた中で、根本の出走可能頭数を増やすためのコースの見直しを、10場すべてで行ったのです」
流れとしては、まず東日本馬主協議会で出走困難の問題が取り上げられ、特別調査委員会が設けられた。委員会や調教師、騎手などの意見を踏まえ、各競馬場の出走可能頭数を増やすコースの見直し案が作られ、2002年7月の会議にかけられた。福島から提案された案の一つが、ダート1150mの創設だった。

出走可能頭数は幅員、最初のコーナーまでの距離、コーナーの大きさで決ま

る。当時、福島のダートは最大12頭の1000mと13頭の1700mがあり、幅員拡張でそれぞれ2頭ずつ増えるが、逆に言えばそれが限界だった。

ただ、調査の結果、1000mのスタート地点は向正面だが、2コーナーにシュート部分を設けて最初のコーナー（3コーナー）までの距離を伸ばした新コースを作れば、16頭まで増やせることがわかった。

問題は、何故延ばせるのかだった。



1150mの提案に「実現は難しいと思っていた」と話すJRA競走部番組企画室室長の高松知之氏

JRA馬事部生産育成対策室に籍を置く小林弘毅氏は、2002、03年に福島競馬場の業務課長を務めており、当時の馬場課長とともにこの素案を作成し、本部の会議にかけた。いわば1150mを提案した一人だが、この数字が導き出された理由は至ってシンプルだった。

「1200mを取るには2コーナー後ろのスペースが足りなかったんです。限界まで取った結果が1140でも1160でもなく1150mだったという事です」

ちなみにもう少し短く、キリの良い1100mでも出走可能頭数を増やせた

そして、初めのレースへ

工事は2004年春の開催中の4月13日に着工し、半年後、秋の開催前の10月13日に竣工した。

2004、06年に福島競馬場の業務課長を務めたのは、JRA馬事部生産育成対策室の後藤博英氏だ。小林氏の後を引き継いで工事と運用開始に携わった。

後藤氏によると、工事は夏も含めて開催を止めず進めたため、スケジュールがかなりタイトだったという。

「レースで使えない部分は開催の合間に先に進めることができましたが、シュート部分は夏が終わってから3ヶ月で一気に作りました」

新設のシュート部分は、2コーナーの合流部分と傾斜や高さを合わせるのに苦労があったという。芝も3ヶ月では育たないため、レースではあまり使用されない芝コースの一部分を移設し、そこに養生地からの芝を張ったりもした。

後藤氏が「相当な突貫工事でした」と話すように、工事車両の出入りも激しかったが、周辺の住民からの苦情は驚くほどなかった。後藤氏が「全10場で周辺住民がいちばん競馬に好意的だと感じます」と言うのと、小林氏も「凶抜けてそうですね」と頷き、こう続けた。「郡山から競馬を持ってきた経緯もあ

が、シュート部分の芝スタートから2完歩ほどでダートに入るために非常に危険で、とても採用はできなかった。



JRA馬事部生産対策室に籍を置く小林弘毅氏。福島ダート1150mは氏の提案からすべてが始まった

当初は皆が懐疑的な条件だったが、予想外の展開でゴーサインが出る

そうやって導き出した最適解のはずだったが、会議での反応は悪かった。小林氏が「みんなからボロクソに言われました（笑）」と振り返るように、プレゼンが終わると、ハンデキャップやトレンセンの競走課などから口々に懐疑的な意見が飛び交った。

高松氏も、番組編成の立場から「予想ファクターとしての走破タイムが比較しづらいという、お客様に対しての情報提供の面からも、実現は難しいと思っていました」と明かす。

ところがこの後、そんな空気は一変する。会議を進めるため、とりあえず他の競馬場の説明も聞いたところ、東京競馬場から「ダート1300mの新設」という驚きのプランが出てきたのだ。

当時、東京は工期を分けた大規模な

改修工事が始まっていたが、それによりダート1200mで最初のコーナーまでの距離が短くなり、出走可能頭数が維持できない見込みとなっていた。その解決策が、スタート地点を100m下げた1300mの新設だった。

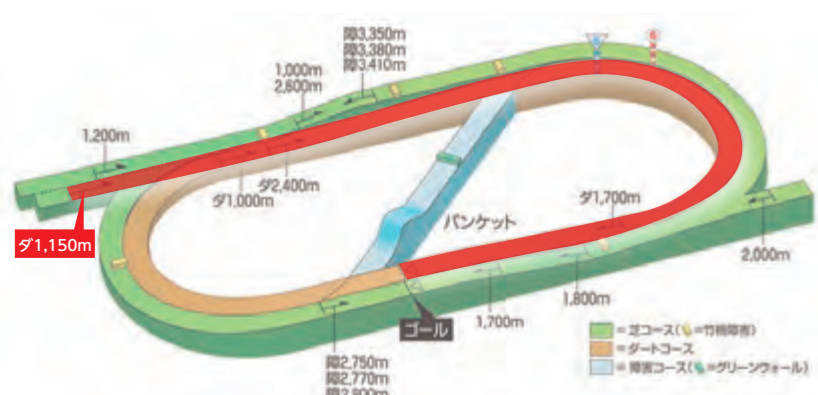
高松氏も「みんなびっくりして、そこからはもう福島は置いて、東京の話にかりつきりでした」と笑う。じつは会議では、他の競馬場からもさまざまな提案があった。1150mや1130mなども出されたが、どれも出走可能頭数が1頭ほどしか増えないため、却下されていた。

しかし福島は違った。向正面の芝とダートの間に約9mの敷地があり、それを利用して向正面は外側に5m、正面は内側に3m、ダートの幅員を拡張する余地があったのだ。その効果をあわせることで、ダート1150mでは出走可能頭数16頭が見込めていた。

結局その2ヶ月後、9月の会議で、福島ダート1150mにはゴーサインが出された。小林氏は「2ヶ月で、急に温度感が変わっていました」と笑って振り返る。

「東京がやるんだから、もう他も中途半端な距離だとしても実を取るべきという空気になっていましたね」

ちなみに同じタイミングで、同じ出走困難解消の目的で提案され、翌年の2003年に実現したのが「春の福島開催」だった。当時、春競馬の第3場は小倉や中京で、関東圏は5月の新潟



ダート1200mを取るには2コーナー後ろのスペースが足りなかったが、1150mならばフルゲートで16頭が出走できるコースを作ることが可能だった



ダート1150m実施から19年目の2023年夏。同条件で初めてのオープン競走として実施された安達太良S（2023年7月23日・11R）

この開催から「福島ダート1000m」のレースは完全に実施されなくなった。
中山ダート1200mとの類似性は距離や同じ右回り、芝スタートを考えればある意味、当然で、高松氏も「関係者からも、ダート1000mより、その後中山で使う上での物差しになる」とはよく言われます」と話す。
ちなみに中山ダート1200mと、福島ダート1150mは、ともにスタートの芝部分は外の方が長いが、福島1150mでは、内外の有利不利がほとんどないことがデータに表れている。
また、驚くべきは騎手別成績で、なんと20年のうち半分の期間しか乗らずに引

りますから。福島市民は自分たちの競馬場という意識がすごく強いんです」
こうして完成した福島ダート1150mは、2004年10月23日、秋の福島開催初日について運用が始まった。しかしフルダートは16頭ではなく、14頭でのスタートだった。ジョッキー側からの「まずはレースで騎乗してみても、安全が確認できてから頭数を増やしたい」という要望に応えた形だった。
そのジョッキーたちの意見をまとめたのが坂井千明騎手（当時）だった。美浦騎手クラブの馬場保全委員長を務め、常に騎手の窓口としてJRAとの間に入ってくれた坂井千明騎手

■福島ダ1150m戦で勝利実績のあるJRAダート重賞連対馬（～2023.12.28）

馬名	福島ダ1150勝鞍	重賞連対
タイセイアトム	フルーツラインC (1000万下・2007年)	★ガーネットS①着 (2008年) 根岸S2着 (2008年)
テーオージーニアス	3歳以上500万下 (2018年)	★カペラS2着 (2019年)
ダンシングプリンス	彦星賞 (3歳以上2勝クラス・2020年)	★カペラS①着 (2021年)
チェイスザドリーム	安達太良S (3歳以上オープン・2023年)	★カペラS2着 (2023年)

※★=中山ダ1200m 福島ダ1150m戦を勝利し、のちにJRAダート重賞でも連対した4頭。いずれも中山ダ1200m重賞で連対しているのが特徴的

■福島ダ1150m戦勝馬の他コースでの勝利数（～2023.12.28）

ダ1150m勝利前に勝っていたコース			ダ1150m勝利後に勝ったコース		
1位	109勝	中山ダ1200m	1位	24勝	中山ダ1200m
2位	62勝	新潟ダ1200m	2位	19勝	福島ダ1150m
3位	55勝	福島ダ1150m	3位	14勝	新潟ダ1200m
4位	34勝	京都ダ1200m	4位	8勝	東京ダ1400m
5位	29勝	阪神ダ1200m	5位	5勝	京都ダ1200m

※福島ダ1150mの勝馬が、勝利前・勝利後にどのコースで勝利しているのかを集計したデータ。ともに中山ダ1200mがトップで、やはり同コースとの高い相関性を裏付けるものとなっている



彦星賞を1分6秒1で勝ち、現在も福島ダート1150mレコードホルダーとなっているダンシングプリンス。のちにJBCスプリントを制した本馬のような活躍馬が、これからも出現していくことだろう

を、高松氏は「馬場の神様でした」と振り返る。
「騎手の安全とJRAのやりたいことのバランスを、すごくよく考えてくださってくれました」
高松氏によると、坂井千明騎手が14頭からのスタートを主張したのは、初めてダート1150mを実施することになる秋の開催は、3歳最後の未勝利戦が中心で、乗り難い馬も多いことが予想されるからでもあった。「でも本部は、何言ってるの、16頭って話だったでしょ！となりますからね」
それをなんとか14頭からの開始でまとめたのが現場の後藤氏だった。坂井千明騎手とは美浦勤務時代からの仲だった。
坂井千明騎手は、ダート1150m戦が実施される直前の9月30日付けで騎手を引退。しかしその後も福島場の場を気にかけて、開催があるごとに後藤氏の相談に乗ってくれていた。

これを同様に、慎重に様子を見て始められたのが、2歳新馬戦だった。
同じ芝スタートの中山ダート1200mと比べても芝の部分の距離が短い福島ダート1150mは、レース未経験の馬にとっては危険ではないかという騎手側からの意見だった。
芝とダートの境目で馬が驚かないよう、緑色の砂や草を撒くなどの工夫も施しながら、様子を見ることなると10年。このコースで2歳新馬戦が行われるようになったのは、2013年夏の開催だった（と同時に、

高松氏は「1150という数字は特殊ですけど、レースは決して特殊ではなく、ダート短距離路線に馴染んでしっかり機能しています」と話す。
小林氏は、福島ダート1150mの存在がここまで浸透したのは、頭数でもクラスでも無茶をせず、大事に育ててきたからだと考えていると言う。
「あとはもう、福島の皆さんが応援してくださったからです。本当に、福島の皆さんの競馬愛は素晴らしいです」
福島ダート1150mは、現場ではよく「イチイチゴ」と呼ばれる。
20年かけて育った「イチイチゴ」は、まさにこれから、大きく熟れた実を付けようとしている。



福島ダート1150mで記念すべき最初のレースとなった2004年10月23日・2R 3歳以上500万下（牝）。14頭立てで、中館英二騎手が騎乗したトーセンサニー（1番人気）が逃げ切った

こうして14頭で始まった1150mは翌春からフルダート15頭に、そして1年後の秋、無事16頭となっている。



2004～06年に福島競馬場業務課長を務めた後藤博英氏。新コースの実施は騎手の安全を守るのも重要な課題の一つだった

■福島ダ1150m 枠番別成績（※頭数を問わない全レース）

枠番	勝率	連対率	3着内率
1枠	6.9%	14.9%	21.5%
2枠	5.5%	10.6%	17.2%
3枠	6.7%	13.2%	19.3%
4枠	6.5%	13.0%	19.6%
5枠	5.6%	12.4%	18.1%
6枠	6.0%	12.6%	19.4%
7枠	6.2%	12.7%	19.3%
8枠	8.2%	14.3%	20.9%

■福島ダ1150m・中山ダ1200m 枠番別成績比較（2005.10.22～2023.12.28 16頭立て）

福1150	勝率	連対率	3着内率
内枠 (1～4枠)	6.1%	12.6%	19.0%
外枠 (5～8枠)	6.4%	12.4%	18.6%
中1200	勝率	連対率	3着内率
内枠 (1～4枠)	5.7%	11.5%	17.6%
外枠 (5～8枠)	6.9%↑	13.6%↑	20.1%↑

※内枠・外枠で大きな成績の差がない福島ダ1150m。よく似た形状の中山1200mでは外枠（5～8枠）の成績が若干上向くが、福島ダ1150mはフラットである

■福島ダ1150m・騎手勝利数

総合 (2004～2023年)			近5年 (2019～2023年)		
1位	39勝	中館英二	1位	10勝	藤田菜七子
2位	21勝	吉田隼人	2位	9勝	田辺裕信
3位	20勝	戸崎圭太			戸崎圭太
4位	19勝	丸山元気			斎藤 新
5位	17勝	北村宏司	4位	7勝	菅原明良
6位	15勝	田辺裕信			永島まなみ
7位	14勝	藤田菜七子			三浦皇成
8位	13勝	石橋 脩	8位	6勝	丸山元気
		勝浦正樹			秋山稔樹
		内田博幸	9位	5勝	木幡巧也
		大野拓弥			角田大和
		後藤浩輝			
10位	12勝	津村明秀			

※通算最多勝はダントツで中館英二元騎手。近5年では藤田菜七子騎手をはじめ減量で騎乗できる騎手の活躍も目立つ



馬の耐暑性と耐寒性

気候の変動により年々、夏の暑さが過酷となる中、JRAからは今夏の新潟開催における発走時刻の変更など、さらに踏み込んだ暑熱対策の実施が発表されました。酷暑の中、また極寒下において、馬の体には実際のところどのような症状が表れるのでしょうか。山崎獣医に伺いました。

取材・文 土屋真光

様々な研究の結果、データが揃い、効果的な対策方法が見い出されつつもある

JRAは一部の夏季新潟開催について、新たな暑熱対策を講じることを発表した。具体的には、最終レースの発走時間を繰り下げ、気温が特に高い時間帯である11時30分頃〜15時10分頃の競馬を休止するというものだ。

「ここ数年、夏の暑さはさらに過酷になっていて、馬にとってはとても厳しい環境でした。今回のこうした取り組みは、理にも適っていますし、大変良いことだと思います」

暑熱対策については、JRAはこれまで様々な対策を行ってきた。パドックや退避所のミストファンの設置や、パドックの周回時間の短縮といった、ファンにも見えるもののほか、レース前の飲水や、レース後の検量室

前から厩舎に向かう馬道の上にレイインシャワーを設置するといったものなどが挙げられる。こうした対策は、これまで様々な媒体でも報じられてきた。

「以前は、レース後のクールダウンとして、馬装を外したあと、しばらく歩かせたり、馬房の中で安静にさせる、ということが有効だと思われていました。しかし、JRAの研究の結果、暑熱環境においては、これらを行っても、深部体温はほぼ下がらず、クールダウンの効果は低いことがデータでもわかりました。それよりも、身体全体に水を徹底的にかけることが深部体温の冷却には効果的であることがわかり、競馬場にもそういった環境を整えていただけるようになりました。」

加えて、夏場のレース後に重要なのは、塩分の補給である。

「馬は人間の4倍のナトリウムを消費します。しかも、人間は汗をかいても、皮膚から塩分を取り込めますが、馬はそれができません。また、喉の渴きを訴えない馬も多いですね。飲水を促すためにも、レース後は飼料に塩を多めに入れたり、電解質のサプリメントを経口で投与させることを推奨しています」

ただ、意外なことに、熱中症のピークは、いわゆる「夏競馬」ど真ん中の時期ではないそう。

「実は暑くなり始め、6〜7月ぐらいに症状が出る人が多いんです。理由としては、暑さに馬の身体が順化していないからなんです。早い時期からの夏バテは長引きやすい感覚がありますので注意が必要です。」

兆候としては、馬のヤル気が無くなる、元氣消沈、飼料の食いの低下、馬体全体も角張った感じになります。

汗のかき方が局所的になったり、汗を全くかかなくなる馬もいます。そうなる回数が増えることが難しくなり、秋、冬まで回復に時間がかかってしまうことにもなりかねません。また、暑い時期は高体温、脱水状態が継続することと抹消の血行が悪くなり、蹄葉炎を発生してしまうこともあります。

その一方で、特に3歳未勝利馬は、この時期に結果を出さないといけません。以前のように、秋の福島開催まで未勝利戦があれば、休ませるのが一番なのですが、そうはいかないわけですから、私たちとしても、体調の管理とのせめぎ合いになってしまいうことも少なくありません」

そうならないためにも、早い時期か

らの予防は重要になってくる。

「調教時から前述した冷却や、サプリメントを投与することももちろんで、馬個々の体調を毎日注意深く観察することが重要になります。また、3週間ぐらいかけて暑熱環境下でトレーニングなどの調教を行い、暑熱順化させるということも一定の予防効果があるとされています。」

しかし、これだけ予防しても、突然体調を崩す馬も出てくる。特に、パドックからレースに向かってから変調をきたす馬も少なくない。

「例えば、ものすごく暑い日に、涼しい時期の感覚で、返し馬の際にしっかりとウォーミングアップをしてしまったことが急な体調悪化に繋がることもあります。また、同じように暑い日に、突然の大雨が降りますと、馬場が冷えるのではなく、地面から湯気が立って、それこそサウナのようになってしまうので、それも馬にとってはいいものではありません」

思い出されるのは昨年アイビスサマーダッシュ。1番人気だったファイアダンサーがしんがり敗れ、その後陣営からは熱中症の症状が見られたというコメントが寄せられたということがあった。

「馬を送り出してしまっただけから、騎乗している騎手の申告がない限り、

体調が悪そうでも獣医は診ることができません。人気が集まっているような馬ですと、なかなか簡単ではないと思います。騎手の皆さんはそうした兆候が見られた場合、どうか馬のことを考えて申告しJRAの判断を仰いで頂きたいです。馬主さんも、除外になったとしても、愛馬の命に関わることでですのでご理解をして頂きたいところです。」

ところで、夏に関しては熱中症が課題としてあがるが、冬場の課題はどうだろうか。

「馬はもともと寒さには強い動物です。暑い時期の熱中症に相当するような心配は北海道の様な寒冷地以外ではないですね。むしろ、しっかりとウォーミングアップをすることで、怪我を防止することにも繋がります。」

敢えて挙げるなら、足元の繋障（けいくん）の悪化などがあります。寒い時期はお湯で馬体を洗う為、脂分が抜けやすく、皮膚炎を起こしやすいです。この皮膚炎に馬場凍結予防の塩化カルシウムの不凍剤が付着すると悪化することがありますので注意が必要ですね。」

また、「夏馬」という言葉もあるように、熱中症など微塵も感じさせない、夏に調子を上げる馬も珍しくなく、「これは個体差もありますが、夏で

も筋肉がやわらかくなりすぎず、常にいい硬さで張っている馬によくみられますね。休養を入れることで急にガタツと体調が落ち（俗に「全体的に緩む」などと表現されます。）なかなか良いコンディションが戻らない馬もいますので、しっかりとケアしながら、状態をキープした方が良いでしょう。」

今年導入される暑熱対策は、効果と同時に売上への影響も気になるところだ。「獣医としての立場、そしてアニマルウェルフェアの観点からは、北海道も酷暑になってきていますし、究極的には、夏は香港のように休んでしまってもいいと思います。ですが興行としての面もあります。JRAのこれからの取り組みに期待しています。我々も愛馬の体調管理にご協力出来るように日々精進していきたいと思っています。」

実は暑くなり始め、6〜7月ぐらいに症状が出る人が多いんです。理由としては、暑さに馬の身体が順化していないからなんです。早い時期からの夏バテは長引きやすい感覚がありますので注意が必要です。

獣医師 山崎将彦

経歴
2000年3月 北里大学獣医学科卒業
2000年4月 美浦トレーニングセンター内松永獣医科入社
2011年1月 カリフォルニア州 Santa Anita Park Racetrack プライベート獣医師の元にて3ヶ月研修
2011年4月 ヤマザキホースクリニック開業
2015年4月 山梨大学大学院博士課程卒業（医科学博士）
現在に至る



実は暑くなり始め、6〜7月ぐらいに症状が出る人が多いんです。理由としては、暑さに馬の身体が順化していないからなんです。

早い時期からの夏バテは長引きやすい感覚がありますので注意が必要です。



2023年 宝塚記念(GI)



C.ルメール騎手のコメント

大外から早めに動きました。ワイドにはなりましたが、内の馬場は良く、安全に乗りたかったです。大外の馬場の方が良かったです。よく来てくれました。良いスタートでしたが、良いポジションが取れませんでした。ペースが速かったので、後ろからになって、全然心配はしていませんでした。馬は1コーナーですぐリラックスできていたので、後方から我慢しました。宝塚記念は難しいレースで、一番強い馬でも勝つのは難しいです。内回りはトリッキーで、特に今日は内の馬場があまり良くなく、変わった結果(のレース)もありました。今日は世界一の馬が勝つことができ、よかったです。安心しました。ファンの皆様、応援してくれてありがとうございます。改めて、彼の強さを見せました。



2023年 天皇賞(秋)(GI)

C.ルメール騎手のコメント

安心しました。今日はイクイノックスの強さを見せられて良かったです。もちろんGIで1番人気に乗ったら集中しますね。しかし、イクイノックスの能力をよく知っていますから、勝つ自信がありました。だんだん加速してくれました。こういうペースでも彼は速いペースを維持することができました。ゴールして時計を見た時はすごくビックリしました。私にとって天皇賞は日本で大事なレースなので、今日は勝てて良かったです。(この馬の良さは)スタートから良いポジションを取れますし、その後は冷静に走れます。最後はすごく良い脚で伸びてくれます。有馬記念を勝っていますしスタミナもあります。完璧な馬です。



木村哲也調教師のコメント

ホッとしました。昨年とはプロセスが全然違いますし、多くのファンの皆様が注目する中、また天皇皇后両陛下をお迎えしての天皇賞であり、1番人気になると思っていましたし、結果はどうあれ、恥ずかしい仕事はできないと思ってやってきました。輸送からトラブルも無く、馬は集中力があり、良い状態で順調に來られました。レースは道中、不利なく立ち回っていましたし、心配する事なく見ていました。

2023年 ジャパンC(GI)



C.ルメール騎手のコメント

この馬の走りは信じられませんね。ペースは速かったですが、直線に入ってすぐに反応してくれました。びっくりしました。アクセラレーション(加速)がすごかったです。言葉がありません。今日のイクイノックスは、改めてすごかったです。すごく良い競馬を見せてくれましたし、本当にうれしく思います。ファンの応援がすごかったです。イクイノックスの関係者に感謝したいです。ずっとこの馬で良い仕事をしてくれて、世界一になりました。皆さん、応援ありがとうございました。

木村哲也調教師のコメント

今日は健康状態を保って、競馬場に來られたと思います。スタートからアグレッシブな気持ちで出て行ってくれました。(ゴールの時は)いろいろな感情が入り混じっていましたが、解放されたな、というのが正直な気持ちかなと思います。今日もファンの皆さんに応援していただいて、こうやって勝利することができました。月並みな言い方になるかもしれませんが、ファンの皆さんの声援がイクイノックスの背中を押し、私やスタッフを前向きな気持ちにさせてくれる、勇気を与えてくれていると思います。本当にありがとうございました。



~Grade/Group Races Winners (GI)・(G1)~



2023年度JRA賞
【年度代表馬】&
【最優秀4歳以上牡馬】
受賞!!

イクイノックス

牡4歳・青鹿毛・2019年3月23日生

キタサンブラック	ブラックタイド	サンデーサイレンス
	シュガーハート	ウインドインハーヘア
シャトーブランシュ	キングヘイロー	サクラバクシンオー
	ブランシェリー	オトメゴコロ
		ダンシングブレーヴ
		グッバイヘイロー
		トニーピン
		メゾンブランシュ



【2023年ロンジンワールド
ベストレースホース】に輝く!!

※コメント取材協力(国内GI):ラジオNIKKEI

2023年 ドバイシーマクラシック(G1)



C.ルメール騎手のコメント

最高の馬だとわかっていましたし、逃げることで良かったです。関係者の皆様に感謝します。ハーツクライでドバイシーマクラシックを勝ってから随分と経ちますが、彼は2週間前にこの世を去ってしまいました。今日は勝って彼を追悼することができたので、イクイノックスにとでも感謝しています。

木村哲也調教師のコメント

日本のファンの皆様の期待に応えられて、本当にほっとしています。イクイノックスは、環境の変化に戸惑いを見せながらも日ごとに頑張ってくれて、今日に至るまで良い状態でこられたと思います。

※コメント: JRA ホームページより



GII・GIII 優勝馬

2023年2月4日～2024年1月28日

※コメント取材協力：ラジオNIKKEI

関屋記念(GIII)

2023年8月13日	新潟
芝1600m・良	1分32秒1

アヴェラール

- 父：ドゥラメンテ
- 母：アルピアーノ（母父）Harlan's Holiday
- 性齢：牝5

馬主 ㈱シルクレーシング
生産 ノーザンファーム
騎手 戸崎圭太
調教師 木村哲也

戸崎圭太騎手のコメント

スタートは思ったよりも出てくれて、良い位置でレースができました。終始手応えがあり、馬群を割って来られそうな手応えでした。返し馬から本当に良い雰囲気、調子の良さを感じました。重賞を勝ったことで、もっと上を目指してほしいです。



札幌2歳S(GIII)

2023年9月2日	札幌
芝1800m・稍重	1分50秒5

セットアップ

- 父：デクラレーションオブウォー
- 母：スリーアロー（母父）アルテバランII
- 性齢：牡2

馬主 嶋田賢氏
生産 フジワラファーム
騎手 横山武史
調教師 鹿戸雄一

横山武史騎手のコメント

テンションが上がりますが、人間に対して素直で、乗っていても操縦しやすいです。馬場が結構悪かったので外と内とで迷いましたが、ダートもこなせそうな走りをしているので、この馬を信じて内に行こうと思いました。想像以上に強かったですね。これほど離れるとは思わなかったです。



スワンS(GII)

2023年10月28日	京都
芝1400m・良	1分19秒9

ウイングレイテスト

- 父：スクリーンヒーロー
- 母：グレートキャティ（母父）サクラユタカオー
- 性齢：牡6

馬主 ㈱ウイン
生産 コスモヴューファーム
騎手 松岡正海
調教師 島山吉宏

松岡正海騎手のコメント

サポートした後は押し切ってくれていました。これなら何とか大丈夫だと思いました。能力は元から持っている馬ですから、頑張りたいと思っています。



阪神C(GII)

2023年12月23日	阪神
芝1400m・良	1分19秒3

ウインマーベル

- 父：アイルハヴァナザー
- 母：コスモマーベラス（母父）フジキセキ
- 性齢：牡4

馬主 ㈱ウイン
生産 コスモヴューファーム
騎手 松山弘平
調教師 深山雅史

松山弘平騎手のコメント

課題であったスタートも、厩舎が上手く仕上げられて、今日はしっかり出てくれました。人気馬を見ながらいい形で脚をためることができました。直線を向いたときには十分やれると思っていましたし、しっかり伸びてくれて、他の馬を気にする心配なく、強い競馬をしてくれたと思います。



東京新聞杯(GIII)

2023年2月5日	東京
芝1600m・良	1分31秒8

ウインカーネリアン

- 父：スクリーンヒーロー
- 母：コスモクリスタル（母父）マイネルラヴ
- 性齢：牡6

馬主 ㈱ウイン
生産 コスモヴューファーム
騎手 三浦皇成
調教師 鹿戸雄一

三浦皇成騎手のコメント

今まで力で勝ってきた馬が、初めてゲートという課題で挫折して、厩舎の方と話し合い試行錯誤してここに臨んでいたもので、こういう形で結果が出てホッとしています。関係者やファンの皆さんに結果で応えられたことを嬉しく思います。



小倉大賞典(GIII)

2023年2月19日	小倉
芝1800m・重	1分49秒7

ヒンドウタイムズ

- 父：ハービンジャー
- 母：マハーバーラタ（母父）ディーブインパクト
- 性齢：騾7

馬主 ㈱シルクレーシング
生産 ノーザンファーム
騎手 B.ムルザバエフ
調教師 斉藤崇史

B.ムルザバエフ騎手のコメント

調教で何回も乗せていただいていたし、とにかく乗ったイメージのままのレースプランでした。武豊騎手に前走のことを聞いてアドバイスをいただきました。ゲートを出てから促した方がよいということも伺ったので、それで勝てたと思います。豊さん、ありがとうございます。



アンタレスS(GIII)

2023年4月16日	阪神
ダ1800m・重	1分49秒5

プロミストウォリア

- 父：マジェスティックウォリアー
- 母：プロミストスパーク（母父）フジキセキ
- 性齢：牡6

馬主 ㈱シルクレーシング
生産 坂東牧場
騎手 鮫島克駿
調教師 野中賢二

鮫島克駿騎手のコメント

人気している立場でしたが、自分のリズムだけは意識していました。ある程度速いペースでラップを刻んでいたのも、終いもしっかり動いているというより、他の馬の体力を削ぎ落としていければと考えていました。こちらも苦しかったですが、交わされる感じではなかったです。チャンスを活かすことが出来て良かったです。



函館2歳S(GIII)

2023年7月15日	函館
芝1200m・重	1分11秒7

ゼルトザーム

- 父：ヘニーヒューズ
- 母：ロザリウム（母父）キングカメハメハ
- 性齢：牡2

馬主 宮川純造氏
生産 富田牧場
騎手 浜中俊
調教師 加用正

浜中俊騎手のコメント

返し馬から、芝の走りは良さそうだなと感じました。今日は馬場がちょっと重たかったので、それもこの馬にはプラスだったのではないかと思います。3コーナー辺りで手応えも良かったですし、4コーナーから合図を出す反応があったので良いかなと思いました。ゴール直前で少し手綱を緩めた時に、馬も少し耳を立てて余裕がある仕草を見せましたし、強かったです。



特別競走 優勝馬

2023年2月4日～2024年1月28日

邁進特別 2023.4.30/新潟
(4歳以上2勝クラス) 芝1000m・重

クムシラコ



●馬主：(有)ミルファーム ●性齢：牡5
●生産：猿橋義昭 ●調教師：石毛善彦
●騎手：黛弘人

石和特別 2023.4.23/東京
(4歳以上2勝クラス) 芝1800m・良

カーペンタリア



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牝4
●生産：ノーザンファーム ●調教師：木村哲也
●騎手：D.レーン

桑折特別 2023.4.15/福島
(4歳以上1勝クラス) 芝2000m・稍重

カヨウネンカ



●馬主：(有)ミルファーム ●性齢：牝4
●生産：ミルファーム ●調教師：斎藤誠
●騎手：黛弘人

雲雀S 2023.2.11/東京
(4歳以上3勝クラス) 芝1400m・稍重

グラスミヤラビ



●馬主：半沢(有) ●性齢：牝4
●生産：飛渡牧場 ●調教師：大江原哲
●騎手：柴田善臣

春菜賞 2023.2.4/東京
(3歳1勝クラス) 芝1400m・良

トーセンローリエ



●馬主：島川隆哉氏 ●性齢：牝3
●生産：有限会社エステイファーム ●調教師：小笠倫弘
●騎手：横山和生

日野特別 2023.6.24/東京
(3歳以上2勝クラス) ダ1600m・良

アナンシエーション



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：騾5
●生産：Colts Neck Stables LLC (米) ●調教師：手塚貴久
●騎手：C.ルメール

上賀茂S 2023.5.13/京都
(4歳以上3勝クラス) ダ1800m・良

メイクアリーブ



●馬主：宮川純造氏 ●性齢：牡4
●生産：富田牧場 ●調教師：大根田裕之
●騎手：幸英明

谷川岳S(L) 2023.4.30/新潟
(4歳以上OP) 芝1600m・重

ピースオブエイト



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牡4
●生産：ノーザンファーム ●調教師：奥村豊
●騎手：吉田隼人

房総特別 2023.3.12/中山
(4歳以上2勝クラス) 芝1800m・良

サンカルパ



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牝4
●生産：ノーザンファーム ●調教師：田中博康
●騎手：C.ルメール

鎌ヶ谷特別 2023.3.11/中山
(4歳以上2勝クラス) ダ1800m・良

トップオブジェラス



●馬主：嶋田賢氏 ●性齢：牡4
●生産：三嶋牧場 ●調教師：高木登
●騎手：横山武史

あすなろ賞 2023.2.12/小倉
(3歳1勝クラス) 芝2000m・稍重

アイスグリーン



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牡3
●生産：ノーザンファーム ●調教師：池添学
●騎手：幸英明

潮騒特別 2023.7.8/函館
(3歳以上2勝クラス) 芝1200m・良

ラキエータ



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牝4
●生産：(有)社台コーポレーション白老ファーム ●調教師：音無秀孝
●騎手：北村友一

北斗特別 2023.7.8/函館
(3歳以上1勝クラス) 芝2000m・良

ディープレイヤー



●馬主：嶋田一成氏 ●性齢：牡4
●生産：岡田牧場 ●調教師：大和田成
●騎手：柴山雄一

北海H 2023.6.25/函館
(3歳以上2勝クラス) 芝2000m・良

エーデルブルーメ



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牝4
●生産：ノーザンファーム ●調教師：安田隆行
●騎手：横山和生

豊橋S 2023.3.18/中京
(4歳以上3勝クラス) 芝1600m・重

アヴェラレ



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牝5
●生産：ノーザンファーム ●調教師：木村哲也
●騎手：菅原明良

天神橋特別 2023.3.12/阪神
(4歳以上2勝クラス) 芝1600m・良

ロワンディシー



●馬主：松本俊廣氏 ●性齢：牡5
●生産：天羽禮治 ●調教師：北出成人
●騎手：池添謙一

アネモネS(L) 2023.3.12/中山
(3歳OP) 芝1600m・良

トーセンローリエ



●馬主：島川隆哉氏 ●性齢：牝3
●生産：有限会社エステイファーム ●調教師：小笠倫弘
●騎手：横山和生

かもめ島特別 2023.7.15/函館
(3歳以上2勝クラス) 芝1800m・重

カヨウネンカ



●馬主：(有)ミルファーム ●性齢：牝4
●生産：ミルファーム ●調教師：斎藤誠
●騎手：黛弘人

天の川賞 2023.7.9/福島
(3歳以上2勝クラス) ダ1700m・良

アシタガアルサ



●馬主：千葉正人氏 ●性齢：牡5
●生産：飛野牧場 ●調教師：小笠倫弘
●騎手：団野大成

噴火湾特別 2023.7.9/函館
(3歳以上2勝クラス) ダ1000m・良

クローリスノキセキ



●馬主：嶋田賢氏 ●性齢：牝5
●生産：岡田牧場 ●調教師：西田雄一郎
●騎手：横山武史

モルガナイトS 2023.4.9/福島
(4歳以上OP) 芝1200m・良

ヴィズサクセス



●馬主：嶋田賢氏 ●性齢：牡6
●生産：Airlie Stud (愛国) ●調教師：奥村武
●騎手：武藤雅

印西特別 2023.4.9/中山
(4歳以上2勝クラス) ダ2400m・良

インディゴブラック



●馬主：(有)シルクレーシング ●性齢：牡4
●生産：ノーザンファーム ●調教師：奥村豊
●騎手：内田博幸

天白川特別 2023.3.26/中京
(4歳以上2勝クラス) ダ1900m・不良

セブンスター



●馬主：熊坂俊一氏 ●性齢：牡4
●生産：松浦牧場 ●調教師：武井亮
●騎手：黛弘人

百日草特別 2023.11.5/東京
(2歳1勝クラス) 芝2000m・良

アーバンシック



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牡2
●騎手：横山武史 ●調教師：武井亮

堀川特別 2023.10.29/京都
(3歳以上2勝クラス) 芝1800m・良

アイスグリーン



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牡3
●騎手：鮫島克駿 ●調教師：池添学

桂川S 2023.10.22/京都
(3歳以上3勝クラス) ダ1400m・良

ペースセッティング



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：Northern Farm (英国) ●性齢：牡3
●騎手：団野大成 ●調教師：安田隆行

富良野特別 2023.8.19/札幌
(3歳以上1勝クラス) 芝2000m・良

ウインスノーライト



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：牡3
●騎手：長岡慎仁 ●調教師：杉山晴紀

STV賞 2023.7.29/札幌
(3歳以上3勝クラス) 芝2000m・良

サンストックトン



●馬主：(株)加藤ステーブル
●生産：株式会社 加藤ステーブル ●性齢：牡4
●騎手：横山武史 ●調教師：鹿戸雄一

TUF杯 2023.7.22/福島
(3歳以上3勝クラス) ダ1700m・良

キャリックアリード



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牝4
●騎手：戸崎圭太 ●調教師：高橋文雅

近江特別 2023.11.19/京都
(3歳以上2勝クラス) 芝2000m・良

ウインスノーライト



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：牡3
●騎手：長岡慎仁 ●調教師：杉山晴紀

飯坂温泉特別 2023.11.11/福島
(3歳以上2勝クラス) 芝1200m・良

ウインモナーク



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：牡4
●騎手：黛弘人 ●調教師：奥平雅士

馬事公苑リニューアルOP記念 2023.11.5/東京
(3歳以上3勝クラス) ダ1600m・良

アナンシエーション



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：Colts Neck Stables LLC (米) ●性齢：騾5
●騎手：J. モレイラ ●調教師：手塚貴久

飯豊特別 2023.9.3/新潟
(3歳以上2勝クラス) 芝1400m・良

ラスール



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牝4
●騎手：C. ルメール ●調教師：宮田敬介

2023WASJ第1戦 2023.8.26/札幌
(3歳以上2勝クラス) 芝1200m・良

ドーバーホーク



●馬主：嶋田賢氏
●生産：大栄牧場 ●性齢：牡3
●騎手：R. キング ●調教師：清水英克

手稲山特別 2023.8.20/札幌
(3歳以上2勝クラス) 芝1200m・稍重

ワックスフラワー



●馬主：(有)ミルファーム
●生産：田中裕之 ●性齢：牝3
●騎手：黛弘人 ●調教師：深山雅史

サンタクロースS 2023.12.24/阪神
(3歳以上3勝クラス) 芝2000m・良

セントカメラリア



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牝4
●騎手：北村友一 ●調教師：高野友和

ノエル賞 2023.12.23/中山
(3歳以上1勝クラス) 芝1600m・良

ウインレイアー



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：牝3
●騎手：H. ドイル ●調教師：和田雄二

カトリアS 2023.11.25/東京
(2歳OP) ダ1600m・良

アマンテピアンコ



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牡2
●騎手：C. ルメール ●調教師：宮田敬介

野路菊S 2023.9.23/阪神
(2歳OP) 芝1800m・良

ヴェロキラプトル



●馬主：加藤裕司氏
●生産：社台ファーム ●性齢：牡2
●騎手：鮫島克駿 ●調教師：高野友和

生田特別 2023.9.18/阪神
(3歳以上1勝クラス) 芝2400m・良

パロッサヴァレー



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牝3
●騎手：鮫島克駿 ●調教師：高野友和

ケフェウスS 2023.9.16/阪神
(3歳以上OP) 芝2000m・良

エピファニー



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牡4
●騎手：C. ルメール ●調教師：宮田敬介

八幡特別 2024.1.21/小倉
(4歳以上1勝クラス) 芝1200m・稍重

トーセンエスクード



●馬主：島川隆哉氏
●生産：有限会社 エスティファーム ●性齢：牡4
●騎手：吉田隼人 ●調教師：菊沢隆徳

東雲賞 2024.1.20/中山
(4歳以上2勝クラス) 芝1800m・良

シンティレーション



●馬主：(有)シルクレーシング
●生産：ノーザンファーム ●性齢：牝5
●騎手：C. ルメール ●調教師：池上昌和

玄海特別 2024.1.14/小倉
(4歳以上2勝クラス) 芝2000m・良

ウインシュラン



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：騾6
●騎手：丹内祐次 ●調教師：鹿戸雄一

甲斐路S 2023.10.22/東京
(3歳以上3勝クラス) 芝2000m・良

プラチナトレジャー



●馬主：嶋田賢氏
●生産：服部牧場 ●性齢：牡5
●騎手：菅原明良 ●調教師：国枝栄

柏崎特別 2023.10.22/新潟
(3歳以上1勝クラス) 芝1600m・稍重

ウインエーデル



●馬主：(株)ウイン
●生産：コスモヴェーフาร์ม ●性齢：牝3
●騎手：丹内祐次 ●調教師：吉田直弘

カンナS 2023.9.23/中山
(2歳OP) 芝1200m・稍重

オーキッドロマンス



●馬主：(有)ミルファーム
●生産：ミルファーム ●性齢：牡2
●騎手：内田博幸 ●調教師：手塚貴久

Table with columns: 日付, レース名, 競馬場, コース・馬場状態, 馬名, 性別, 馬主, 騎手, 調教師. Contains a list of race results from 2023.6.17 to 2024.1.28.



日田特別 (4歳以上1勝クラス) 2024.1.28/小倉 芝1800m・稍重. ピンクジン. 馬主: (有)ミルファーム, 生産: ミルファーム, 騎手: 黛弘人. 性別: 牝4, 調教師: 南田美知雄.

くすのき賞 (3歳1勝クラス) 2024.1.28/小倉 芝1700m・良. シークレットキー. 馬主: (有)シルクレーシング, 生産: ノーザンファーム, 騎手: 亀田温心. 性別: 牡3, 調教師: 杉山晴紀.

一般レース優勝馬リスト 2023年2月4日~2024年1月28日

Table with columns: 日付, レース名, 競馬場, コース・馬場状態, 馬名, 性別, 馬主, 騎手, 調教師. Lists winners of general races from 2023.2.4 to 2024.1.28.

馬と温泉

Part 2

西郷村歴史民俗資料館 & 甲子温泉



西郷村歴史民俗資料館 & 甲子温泉

撮影 山田光生

JR新白河駅から西へ約4kmのところに「西郷村歴史民俗資料館」があります。この建物は、軍馬補充部白河支部の事務所として建設され、1992年より資料館として利用されています。

「軍馬補充部」とは、明治時代、軍馬を育てることを最大の目的として陸軍によって設置された機関で、東京に本部を置き、最盛期には国内に9ヶ所の支部がありました。白河支部は1897年(明治30年)に設置され、青森県の三本木支部とともに最も評価の高い「第一級」の支部として名を馳せました。



馬と村との歩みを語る西郷村教育委員会の塩谷慎介氏

西郷村教育委員会生涯学習課の塩谷慎介さんによると、白河支部では約1000頭の軍馬を管理しており、馬の世話をする人のほとんどが西郷村の住民だったそうです。

「江戸時代から終戦後しばらくまで、馬は村の経済を支えているとも言われる大きな存在でした。ただ、その後の社会の到来で、村に馬がほとんどいなくなりました。現代の人に「実は西郷は馬の村だったんですよ」と言っても、ピンと来ません。ですが、これからは村と馬との歴史を伝えていくのが私の役割だと思っています」と塩谷さんはその思いを力強く語ってくれました。

なお、同館は現在、電話による事前予約制で見学が可能となっています(電話:0248・25・2371)。

西郷村歴史民俗資料館から国道289号線を車で進むこと約30分。阿武隈川の上流沿いに「甲子温泉」があります。甲子温泉は、州安和尚が温泉を発見した1384年(至徳元年)の干支が甲子だったことから、その名が付いたとされています。

江戸時代から続く一軒宿「旅館 大黒屋」にて代表を務める草野正人さんは「当地は日光国立公園に属しており、行為規制が厳格で、辺りは自然そのものです。岩山とブナの原生林に囲まれ、ゆっくりとお過ごしいただけます」と語ります。国立公園ゆえに人の手が加わることに制限があり、生活用水は現在も沢水をろ過して使用しているそうです。

また、甲子温泉では、一年を通じての寒暖差が大きく、四季折々の自然を堪能できるのも大きな魅力の一つです。草野さんによると「特に10月中旬からの紅葉は圧巻です」とのこと。赤と黄色で、一面がとても鮮やかに彩られるそうです。

甲子温泉唯一の旅館「大黒屋」代表取締役の草野正人氏



「馬がこの場所で湯治していたかどうか、本当のところはわかりませんが、敷地内には立派な馬頭観音の石碑が建てられている



深さが1.2mある大岩風呂は、全国的にも珍しい「立ち湯」である(※混浴。女性専用時間帯があります)

取材協力:元湯甲子温泉 旅館大黒屋

郷土の美酒をめぐる旅

2杯目



第2回は福島有数のクラフトビールの製造元で、福島競馬場の馬場内にも店舗ブースを持つ「みちのく福島路ビール」を取りました。

ジャパン・グレートビア・アワーズ 入賞!!



有限会社 福島路ビール 福島県福島市荒井字塚3-182

撮影 山田光生

「みちのく福島路ビール」は、1997年に場内イベントへの出店依頼があったことをきっかけに福島競馬場の販売が始まり、現在では、おもに福島競馬の開催期間中に、ローズガーデンに隣接した常設店舗にて営業を行っている。

飲んで楽しく過ごしている。子供ながらに「こっつすこっつす楽しいところなんだ」と、記憶に残っていたそう。お父様の体が弱くなり、もう外出もままならなくなると、「どこかに行きたいところがあるか」と聞いたら、「競馬場に行きたい」。そうして来てくれた息子さんが、私のことを覚えてくださって、すごく感動的でした。私ここにいて良かったと心から思いました。――

博子さんは優しくおらかな笑顔でこれからも来場者の心と喉をうるおしていく。



「お客様には常に感謝の気持ちでいっぱいです」と語る吉田博子さん



黒ビールのデュンケル。黒字を招く「げん担ぎビール」として名物に



「みちのく福島路ビール」は、福島市荒井の「アンナガーデン」に工場があり、家族経営の「有限会社福島路ビール」が製造・販売を行っている。「ピルスナー」や「ヴァイツェン」といったドイツスタイルの伝統的なビールをはじめ、福島の果物をふんだんに使った独自のクラフトビールが同社の主力商品となる。

「東日本大震災後の復興イベントで、隣合わせとなった農家さんから「果物が売れない」ということを聞き、私たちがお手伝いできることが何かないかなと考えました。そして研究をして、飲みに来てください(吉田重男さん)

主なビールの種類			
	発酵方法	発酵温度と期間	味わいの特徴
エール	上面発酵	高い・短い	香りが豊かで、酸味がある。比較的飲みやすいビールが多い
ラガー	下面発酵	低い・長い	熟成期間が長く、ドライで切れ味のいいビールが多い

「東日本大震災後の復興イベントで、隣合わせとなった農家さんから「果物が売れない」ということを聞き、私たちがお手伝いできることが何かないかなと考えました。そして研究をして、飲みに来てください(吉田重男さん)

最後に、競馬場店について、今後の目標を伺った。

「1開催ごとに限定ビールを出していきたいと思っています。豊富な素材を使って、新しい味のビールをお楽しみいただきたいと考えております。ぜひ飲みに来てください(吉田重男さん)

今回の～勝利の美酒～『ピルスナー』

競馬場店舗でも「1番人気」というのがこのピルスナー。ホップの心地良い苦みとさわやかでスッキリとした味わいが特徴で、チーズや肉料理とのマリナーージュがおすすめのことだ。

【みちのく福島路ビール】競馬場店舗または工場併設のバー「PROST」およびオンラインショップ(https://f-beer.shop-pro.jp/)などで取り扱っています。

秋季馬主研修会及び懇親会

令和5年11月4日(土)にエルティにおきまして、秋季馬主研修会及び懇親会が開催されました。

研修会にはJRA本部からは伊藤幹競走部部長にも出席をいただき、奥田裕之番組企画室交流競走課課長を講師として「全日本的なダート競走の体系整備」について講演が行われました。

研修会終了後の懇親会では、ステージ&BGM生演奏やベテランバーテンダーによるカクテルパフォーマンスが用意され、最後にビンゴゲーム大抽選会が行なわれました。

たくさんの方の会員と同伴者には吉成公伸開催委員長、福島競馬場杉山淳場長をはじめ、多数のJRA本部役員及び福島競馬場管理職者の方にも出席をいただき、参加者全員の親睦が図られました。



定時社員総会

令和6年2月14日(水)にエルティにおきまして、令和6年度定時社員総会が開催され、伊東会長挨拶の後に総会が始まり、用意されたすべての議案は全員異議なく可決承認されました。



総会終了後には懇親会が開催され、福島競馬場からは杉山淳場長はじめ、たくさんの方の管理職者の方にも出席をいただき終始和やかな雰囲気に参加者全員の親睦を図ることができました。



会員研修旅行

令和5年5月18日(木)から20日(土)の日程で、リニューアルオープンした京都競馬場視察会員研修旅行が実施されました。

初日は京都ブライイトンホテルに集合し、ホテルのバケットで夕食会が行なわれました。

2日目はあいにくの雨模様の天気でしたが専用バスで移動し、知恩院にて通常非公開の金屏風壁画や大鐘楼内部を丹念に拝観しました。昼食は長楽館で本格フレンチを堪能した後、世界遺産・元離宮二条城を見学し、最後に嵐山熊彦にて懇親会が開催されました。懇親会には京都馬主協会大八木信行会長、京都競馬場松田恵作場長、福島競馬場杉山淳場長、そして騎手を引退し調教師とな



なった福永祐一調教師にも出席をいただき、舞妓さんによる艶やかな舞を楽しむ京料理に舌鼓をうちながら、大変楽しく賑やかな懇親会となりました。

最終日は生まれ変わったセンテナル・パーク京都競馬場来賓室において迫力のある競馬を観戦した後、京都駅から帰路につき無事に会員研修旅行を終えることが出来ました。

最後に今回の研修旅行に際しましては京都馬主協会並びに京都競馬場の皆様には大変お世話になりました。この紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。



助成金目録贈呈式

令和5年9月22日(金)にエルティにおきまして令和5年度中央競馬馬主社会福祉財団の助成金決定通知書目録贈呈式が執り行われました。

贈呈式には中央競馬馬主社会福祉財団後藤浩之専務理事(元福島競馬場場長)、福島競馬場杉山淳場長、本会からは伊東会長、坂田社会貢献・広報委員会委員長など多数の関係者にも出席をいただき、福島県内の20ヶ所の社会福祉施設の代表者の方に目録を贈呈いたしました。



※役職名等は実施時のものです。

令和5年度 中央競馬馬主社会福祉財団助成金決定額

番号	法人名	施設名	要望物件	決定額
1	(特非) いきいきサポートつくしんぼ	ゆうゆうハウス	トイレの増設工事	84万円
2	(福) たちあおい	菜の花	車両	172万円
3	(福) 敬和会	東田保育園	空調機器入替工事	200万円
4	(特非) 共創未来	みらい	車両	133万円
5	(福) つばさ福祉会	父の夢	車両	152万円
6	(福) 福島愛育園	福島愛育園	トイレの改修工事	183万円
7	(福) 賢心会	りんどうの家	トイレの改修工事	172万円
8	(特非) 和	なごみ第二	車両	98万円
9	(福) けやきの村	桃の里	業務用ボイラー設置工事	127万円
10	(特非) そらいろ	そらいろデイ	車両	195万円
11	(特非) ひまわり福祉会	永遠の里	車両	200万円
12	(特非) ポプラ福祉会	ポプラ工房	車両	109万円
13	(福) 慈仁会	星風苑	加圧給水ポンプ更新工事	144万円
14	(福) 厚慈会	国見の里	炊飯器・スチームコンベクション	187万円
15	(福) ふたばの森	双葉こどもの園	テーブル・椅子	83万円
16	(福) 真善美	善	車両	103万円
17	(特非) CHANT	CHANT	車両	138万円
18	(特非) 虹色の樹	にじいろ工房	車両	104万円
19	(福) 愛和会	のぞみの花こども園	園庭用遊具設置	158万円
20	(福) つどい	もちずりワーク	更衣室ロッカー・下駄箱	81万円

2,823万円



新規会員

- なかむら ゆういち **中村 雄一氏** 令和5年5月入会
- はんざわ じろう **半澤 次郎氏** 令和5年9月入会
- きみや ゆうた **木實谷 雄太氏** 令和5年9月入会
- かとう てんめい **加藤 天明氏** 令和5年9月入会
- いちじゅう けんじろう **一重 憲二郎氏** 令和6年1月入会
- やまかわ のりひこ **山川 憲彦氏** 令和6年1月入会

～未来をつくる子供たちへ～



**福島馬主協会は
子ども食堂の運営を支援しています**



本会では、令和4年より、公益目的助成事業の一環として福島市内の「子ども食堂」を運営する方々の支援を行っています。令和5年は、33ヶ所の子ども食堂に対して、600万5100円を支援し、10月19日（木）にエルティにおきまして支援金の目録贈呈式を執り行いました。贈呈式には、本会から伊東会長をはじめ常務役員および坂田社会貢献・広報委員会委員長や委員の方に出席をいただき、子ども食堂運営者の代表者の方に目録を贈呈しました。後日、子ども食堂運営者の方や子どもたちから、心のこもった感謝状やお手紙がたくさん届きました。



一般社団法人 福島馬主協会組織図

令和6年度 (2月29日現在)

一般社団法人 福島馬主協会

会長	理事	伊東純一
副会長	理事	阿部善武
副会長	理事	松本俊廣
常務理事		加藤信之
常務理事		米本昌史
理事		宮川純造
理事		片山博志
理事		坂田行夫
理事		岡田義広
理事		清水敏雄
理事		本田恒雄
上席監事		佐藤壽二
監事		加藤裕司
顧問	顧問	島川隆哉
顧問	顧問	長南弘志
相談役	相談役	塩田寛
相談役	相談役	浜口一磨
相談役	相談役	半澤賢
参加	参加	嶋田幸弘
参加	参加	落合

総務委員会

委員長 阿部善武

社会貢献・広報委員会

委員長 坂田行夫
副委員長 岡田義広
委員 加藤裕司

事故防止委員会

委員長 宮川純造
副委員長 片山博志

研修委員会

委員長 米本昌史
副委員長 本田恒雄
委員 加藤裕司

事務局

事務局長 菅野昭
職員 高野千秋

活動報告

(令和5年3月18日~令和6年3月31日)

(1) 本会の委員会及び会議、活動等

令和5年	4月5日	事故防止委員会・馬場浄め式
	4月8日	常務会、福島競馬開催関係者との懇談会
	5月12日	理事会、東越会
	5月18日	～20日 会員研修旅行
	6月26日	研修委員会
	6月28日	事故防止委員会・馬場浄め式
	7月7日	常務会、福島競馬開催関係者との懇談会
	7月19日	助成金推薦審査委員会
	8月29日	研修委員会
	9月22日	助成金決定通知書目録贈呈式
	9月27日	常務会、理事会
	10月19日	子ども食堂支援金目録贈呈式
	10月19日	社会貢献・広報委員会
	11月1日	事故防止委員会・馬場浄め式
	11月4日	秋季馬主研修会・懇親会
	11月11日	常務会、福島競馬開催関係者との懇談会
	11月17日	会報「人馬一体」座談会
	11月28日	研修委員会
	12月13日	常務会、理事会、福島競馬場管理職者との懇談会
令和6年	1月14日	総務関係打合せ
	1月19日	監査、常務会、理事会
	2月14日	理事会、定時社員総会

(2) 本会が出席した日本中央競馬会の行事等

令和5年	4月10日	京都競馬場竣工式
	4月25日	JRA プリーズアップセール
	6月28日	中京競馬場開設70周年記念式典
	9月20日	美浦トレセン坂路竣工式

(3) 本会が出席した日本馬主協会連合会の会議等

令和5年	4月13日	労務・預託委員会
	4月19日	競馬振興特別委員会
	4月27日	会長会議
	5月16日	競馬振興特別委員会
	6月5日	総務委員会
	6月7日	競馬振興特別委員会
	6月13日	競走馬資源委員会
	6月14日	競馬振興特別委員会
	6月23日	企画・予算委員会
	7月7日	渉外・事故防止委員会
	8月9日	競馬振興特別委員会
	9月6日	競馬振興特別委員会
	9月28日	企画・予算委員会
	10月3日	総務委員会
	10月11日	企画・予算委員会
	10月18日	企画・予算委員会
	10月25日	企画・予算委員会
	10月30日	企画・予算委員会
	11月13日	会長会議
	11月15日	競馬振興特別委員会
	12月5日	会長会議
	12月7日	競馬振興特別委員会
令和6年	1月23日	会長会議
	1月24日	労務・預託委員会
	2月7日	競走馬資源委員会
	2月8日	総務委員会
	2月26日	会長会議
	3月6日	理事会
	3月22日	競馬振興特別委員会
	3月26日	企画・予算委員会

(4) 本会が出席した東日本馬主協議会の会議等

令和5年	4月14日	6単協会会長会議、理事会、懇談会
	10月12日	東日本調査研究委員会
	10月23日	東日本馬主協議会創立50周年記念式典
令和6年	2月26日	6単協会会長会議

(5) 本会が出席した中央競馬馬主社会福祉財団の会議等

令和5年	12月16日	評議員会
令和6年	3月8日	評議員会

(6) 本会が出席した中央競馬馬主相互会の会議等

令和5年	6月20日	小委員会
	10月24日	理事・評議員会懇談会
	11月25日	評議員会
令和6年	2月20日	評議員会

(7) その他

令和5年	4月7日	福島競馬振興会定時総会
	4月29日	天皇賞前夜祭



4月5日 馬場浄め式



5月18日~20日 会員研修旅行



11月4日 秋季馬主研修会・懇親会

人馬一体
ほんばいったい 春号 2024 volume 150
編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、競馬界もようやく本来の姿を取り戻し始めました。福島競馬においても3年ぶりに1年間を通じて有観客での開催が行われ、七夕賞(GⅢ)の売得金は福島競馬1レースあたりの歴代最高金額となるなど大きな盛り上がりを見せました。

今回の会報は、巻頭記事として、2017年春号以来7年ぶりに行われた、本会と日本中央競馬会による特別座談会の模様を掲載いたしました。また、特集では、今年でコースが創設されてからちょうど20年となる「福島ダート1150m」について、その誕生秘話をJRA競走部に伺いました。昨年から始まった連載「馬と温泉」では、西郷村を訪れ、馬と村の歴史について、「郷土の美酒をめぐる旅」では、福島競馬場で長く愛されてきた「福島路ビール」について、それぞれ取材をいたしました。次号以降についても、福島馬主協会会報誌ならではの充実した誌面内容をお届けできるようにしてまいります。

今回の会報をお読みになって感想、ご意見や読んでみたい企画・記事などございましたら、どうぞお知らせください。よろしくお願いたします。

(広報委員会)

福島馬主協会の会員になりませんか。協会未加入の馬主の方をご紹介ください。

一般社団法人 福島馬主協会 〒960-8114 福島県福島市松浪町9-23 TEL: 024-534-1233 FAX: 024-531-5517

ホームページ <http://www.fukushima-umanushi.jp/>